

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成28年2月12日(2016.2.12)

【公開番号】特開2014-131229(P2014-131229A)

【公開日】平成26年7月10日(2014.7.10)

【年通号数】公開・登録公報2014-037

【出願番号】特願2012-288720(P2012-288720)

【国際特許分類】

H 0 4 W 88/02 (2009.01)

H 0 4 W 52/02 (2009.01)

【F I】

H 0 4 W 88/02 1 5 1

H 0 4 W 52/02 1 1 0

【手続補正書】

【提出日】平成27年12月18日(2015.12.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 7】

- 「On duration timer」、「drx-Inactivity Timer」、「drx-Retransmission Timer」及び「mac-contention Resolution Timer」のいずれかが起動しているケース- スケジュール要求(Scheduling Request)を送信したケース

- 上りリンクにおけるHARQ(Hybrid ARQ)再送のための「UL grant」が割り当てられるケース

- ランダムアクセス応答(Random Access Response)を受信した後、PDCCHを介して、新規送信を指示する下りリンク制御信号を受信していないケース

図7(a)及び図7(b)に、DRX状態に遷移するように設定されている移動局UEの動作を示す。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 8】

具体的には、受信部11は、無線基地局eNB #1から、PDSCH(Physical Downlink Shared Channel)やPDCCH(Physical Downlink Control Channel)やPCH(Paging Channel)やBCH(Broadcast Channel)等を介して、下りリンク信号を受信するように構成されている。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0040】

無線基地局 eNB # 1 ~ eNB # 6 の構成は、基本的に同一であるため、以下、無線基地局 eNB の構成として説明する。図3に示すように、本実施形態に係る無線基地局 eNB は、制御部21と、管理部22と、送信部23と、受信部24とを具備している。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0056

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0056】

図5に示すように、本変更例1に係る移動通信システムは、LTE方式又はLTE-A downlink方式の移動通信システムであって、それぞれセル#1~#8を管理する無線基地局eNB # 8等を具備している。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0081

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0081】

本実施形態の第2の特徴は、移動通信方法であって、DRX状態の移動局UEが、無線基地局eNB # 2との間で、ランダムアクセス手順を開始する工程と、無線基地局eNB # 2が、移動局UEの測定対象セル#1を管理する無線基地局#eNB 1から、移動局UEの「UE context(コンテキスト情報)」を取得する工程とを有することを要旨とする。